

## エラー表示

制御盤がエラーを検知すると、操作パネルの表示部にエラーコードが点滅します。  
エラーコード番号が表示された場合は、エラーコードを確認の上、下表に従って調べて下さい。

エラーコード	考えられる原因	点検内容
<b>Pr.of</b> /POWER. OF	電源電圧が低くなっている。 電源容量が小さすぎる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ご注意 電源を OFF した場合にもこの表示を行いますが、故障ではありません。</div>	電源電圧を調べる。 電源容量を調べる。
<b>E1</b> /E1	モータへの配線が短絡している。 ミシンの負荷トルクが大きすぎる。	モータ配線を調べる。 ミシンを調べる。
<b>E2</b> /E2	電源電圧が高すぎる。 ミシン慣性が大きすぎる。	電源電圧を調べる。 減速時間を長くする。
<b>E3</b> /E3	エンコーダのコネクタが完全に差し込まれていない。 エンコーダからの信号が断線している。 ミシンがロックしている。 モータがロックしている。	コネクタの挿入を調べる。 ECA, ECB 信号を調べる。(Eモード参照) ミシンを調べる。 モータを調べる。
<b>E4</b> /E4	モータコネクタ(4ピン)がしっかり差し込まれていない。 モータコネクタ(4ピン)の信号が断線している。	コネクタの挿入を調べる。 コネクタを調べる。
<b>E6</b> /E6	入力信号に異常な入力が入っています。 (高い周波数でON/OFFを繰り返すような信号) 外部からのノイズが入力信号に入っています。	入力信号を調べる。 ノイズ源を取り除く。
<b>E8</b> /E8	位置検出器のコネクタが完全に差し込まれていない。 位置検出器からの信号が断線している。	コネクタの挿入を調べる。 位置検出器の信号を調べる。(Eモード参照)
<b>E9</b> /E9	各種ソレノイド(糸切り, 押え上げ等)の結線が短絡している。 各種ソレノイドの巻き線が短絡している。	ソレノイドの配線を調べる。 ソレノイドを交換する。
<b>E11</b> /E11	12V電源用ヒューズが断線している。	12V電源用ヒューズを調べる。
<p>※E11エラー発生時は、操作パネルの表示部は消灯するため、エラーコードでは確認できませんが、制御盤上の状態表示LEDが橙色で点滅します。(点滅間隔は、0.3秒です。) エラー復帰後にエラー履歴表示で、E11エラーコードを確認できます。</p>		
<b>M5</b> /M5	操作箱のコピー時の異常です。 操作箱のコネクタが完全に差し込まれていない。 制御盤の電圧および機種(制御盤の形名)が異なる。	コネクタの挿入を調べる。 電圧と機種が同一か調べる。
<b>MA</b> /MA	レバーユニットの位置データ不良です。 電源ON時に、ペダルが中立位置にない。 (状態表示LEDが橙色で点灯します。)	ペダルを中立位置に戻す。(1秒後に自動復帰) (VCSETの設定(39ページ)参照)
その他のエラー	考えられる原因	点検内容
ペダルを踏み込んでもミシンが回らない	レバーユニットからの信号が断線している。 S6またはES信号が入っている。	レバーユニットの信号を調べる。 (S1信号 Eモード参照) 状態表示LEDを確認し、点滅している場合は、S6信号を確認してください。
ミシンが高速で回転しない	通常表示で、99が表示されていない。 ペダル踏み込みによる可変速電圧が低い。 モータブリー径が小さい。	操作パネルの[D]キーにより 99 を表示する。 可変速電圧を調べる。(Eモード参照) モータブリー径を調べる。(53参照)
けり返しても糸切りしない	レバーユニットからの糸切り信号(S2)が断線している。 糸切り動作解除設定S2LがONしている。 操作箱の糸切りスイッチがオフになっている。	S2信号を調べる。(Eモード参照) S2LをOFFに設定する。 操作箱の糸切りスイッチをオンにする。
押え上げ出力が動作しない	レバーユニットからの浅けり返し信号(S3)または、糸切り信号(S2)が断線している。 押え上げ入力信号(F)が断線している。 押え上げ出力信号(FU)が断線している。	S2、S3信号を調べる。(Eモード参照) F信号を調べる。(Eモード参照) FU出力信号を調べる。(Eモード参照)